

## 2018年度 LASBIM 論文発表会

□日時: 2/2(土), 10:00~17:30

□場所: 5C302

□発表形式: 発表 7分(UG3) 10分(UG4) 15分(MC2, DC3), 質疑応答 3分(UG3) 5分(UG4, MC2, DC3)

※発表者の入れ替えはスムーズに行えるようにしてください。

No.	Time	Name	Title
Session I : ミニ卒論の部			( 座長: MC1 波多野 千尋 )
1	10:00	山本 淳貴	三段跳における地面反力を大きくするための跳躍動作の研究 ~左右差に着目して~
2	10:10	曽根原 和音	バドミントンにおけるジャンピングパワースマッシュとパワースマッシュ動作の比較
3	10:20	園原 昇真	バドミントンのジャンプパワースマッシュ動作の研究
4	10:30	村里 優花	バスケットボールのドライブ動作に関する研究
5	10:40	山口 拓海	バレーボールのアンダーパスに関する研究 ~熟練者と初心者の動作比較~
休憩 (10 min)			
Session II : 卒論の部①			( 座長: MC1 張 思超 )
6	11:00	三好 正道	体操競技の後方車輪動作における種目間の共通性と相違性
7	11:15	若林 啓介	異なる大外刈の受身における頭部への影響に関する研究
8	11:30	丸山 陸	インサイドプレーヤーのスリーポイントシュートにおけるバイオメカニクスの研究
昼休憩 ( 75 min )			
Session III : 卒論の部②			( 座長: MC1 土屋 百茄 )
10	13:00	東島 圭	走高跳の踏切準備局面におけるキネマティクスの研究
11	13:15	大久保 柊	腕の振りが前方宙返りの高さと同転スピードにおよぼす影響
12	13:30	須藤 悠介	ラクロスにおけるランニングシュートのバイオメカニクスの研究
休憩 (10 min)			
Session IV : 修論の部①			( 座長: MC1 田沢 俊介 )
13	13:55	城本 真輔	記録水準の異なる男子やり投競技者のキネマティクスの研究 -バス解析と平均動作モデルを用いて-
14	14:15	西浦 孝則	ランニング動作におけるバランス維持メカニズムの定量的分析
15	14:35	宮崎 輝光	筋の構造的特性と走動作の変容がハムストリングスの動態に及ぼす影響 -ハムストリングス肉離れの受傷要因に着目して-
16	14:55	植松 倫理	力検出型センサーポールを用いた棒高跳のキネティクスの分析
休憩 (10 min)			
Session V : 修論の部②			( 座長: MC1 森本 泰介 )
17	15:25	岩田 真明	切り返し動作における膝前十字靭帯負荷生成メカニズムの定量化
18	15:45	山本 幸紀	柔道背負投のバイオメカニクスの研究 -肘関節スポーツ傷害の有無による比較-
19	16:05	野中 愛里	ハンマー投げスウィング局面におけるハンマースピードを意図的に増減させたときのターン局面の動作変容
20	16:25	及川 傑	方向転換加速動作における関節機能の定量化
休憩 (10 min)			
Session VI : 博論の部			( 座長: DC3 大津 卓也 )
21	16:55	清水 悠	一流男子走幅跳選手の踏切準備および踏切動作に関するバイオメカニクスの研究
17:30 終了予定			